

CONTENTS

1

特集

外来医療の強化・機能分化がスタート

PART1 厚生労働省医政局総務課長の熊木正人氏に聞く
今後の医療機関の外来機能について

PART2 民間病院の対応を聞く
機能分化を推進するには、「200床以上」に
縛られない、地域での柔軟な議論が必要
織田 正道 氏

PART3 保険者の見解を聞く
入院医療と同様に外来医療の
「見える化」を行うことは重要
幸野 庄司 氏

PART4 「紹介受診重点医療機関」対象病院に聞く
高度な機能分化は連携の背景があってこそ
中尾 浩一 氏

論 説 医療機関の外来医療をめぐって
尾形 裕也

17

寄稿

医療機関における プラチナナースの活用

濱田 安岐子

22

誌上研修 医療福祉建築 リレー連載 第6回

国内最高水準の省エネルギー建築物 ZEB「京都ルネス病院」

富士原 正人

25

協会情報

報告 理事会だより／令和4年度 医業経営セミナー（第1回）／
令和4年度診療報酬改定セミナー開催 広島県支部

案内 国際モダンホスピタルショウ 2022 出展・セミナー／継続研修／
定時総会

30

医業経営の現場から file091 九州・沖縄地区

社会福祉法人春秋会 リエゾン長崎（長崎県長崎市）

“地域愛”を運営理念に 地域密着型ケアハウスを志向

〈表紙写真〉

グラバー邸 [ぐらばーてい] (長崎県長崎市)
グラバー邸は、幕末の志士を裏で支えたスコットランド人の商人、トーマス・ブレイク・グラバーが1863年に建てた住宅で、日本の近代国家夜明けの舞台となったことでよく知られる。建物は長崎港を一望できる高台に建つ。1943年に三菱重工業が購入、1957年に長崎市に寄贈され翌年から一般公開されている。現存する最古の木造洋風建築であり、1961年に国の重要文化財に指定、2015年には九州・山口の近代産業遺産群の1つとして世界遺産に登録された。 [写真: 縄手英樹 / アフロ]

機関誌 JAHMC (ジャーマック) 6月号
令和4 (2022) 年6月号 第33巻第6号
定価500円 (本体455円)
令和4 (2022) 年6月1日発行

本誌に掲載される論文・意見等は、(公社)日本医業経営コンサルタント協会の公式見解と異なる場合があります。
(公社)日本医業経営コンサルタント協会会員の誌購読料は、会費の中にこれを含まれます。

発行人 永山 正人
編集・発行 公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会
〒102-0075 東京都千代田区三番町9-15
ホスピタルプラザビル5階
TEL. 03-5275-6996

制作 株式会社自由工房 / 株式会社アライブ
印刷 株式会社太陽美術
(本誌掲載の写真、記事等の無断転載を禁じます)

機関誌 JAHMC 編集会議
編集長: 高橋 雷太 副編集長: 田中 一夫
編集専門委員:
尾形 裕也 小野 洋子 佐藤由巳子
高木 安雄 富井 淑夫 広多 勤
(五十音順)

ご意見・ご感想などをお寄せください
機関誌 JAHMC をご愛読いただきましてありがとうございます。
読者の皆様からの投稿をお待ちしております。
E-mail または上記「編集・発行」元まで。
koho@jahmc.or.jp